

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

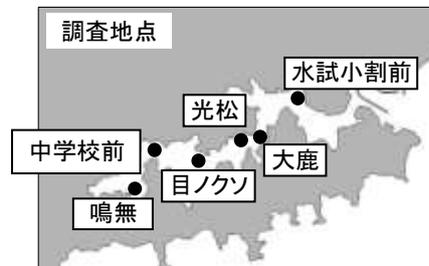
検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で5,700cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で80cells/ml確認されました。

シャットネラ属は全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えています。
慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	ジャイロディニウム属	珪藻類
中学校前 透明度:1.7m	0m	0	0	170	8,100
	2m	3,000	80	20	750
	5m	250	20	30	700
目ノクソ 透明度:1.7m	0m	12	0	100	1,650
	2m	3,500	50	90	250
	5m	300	0	30	70
光松 透明度:1.4m	0m	49	0	60	350
	2m	5,700	40	150	0
	5m	580	0	10	200
大鹿 透明度:1.6m	0m	4	0	90	0
	2m	3,300	30	120	100
	5m	400	0	10	0
水試小割前 透明度:1.8m	0m	1	0	60	350
	2m	1,420	0	20	350
	5m	280	0	0	170
鳴無 透明度:1.8m	0m	9	0	110	
	2m	2,250	40	80	
	5m	350	0	100	



漁業被害が想定される細胞密度
 ・シャットネラ属:
 10~100cells/ml(魚類のへい死)
 ・カレニア・ミキモトイ:
 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>